

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		奈良市姉妹都市国際交流コンサート 「ハルピュ・ジャン・フィリップ・若い少女合唱団」		担当課 施設名	( 奈良市ならまちセンター )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -②、(2) -①・④・⑤、 (9) -④、(18) -①	
	基本施策 施策	2-05 2-05-01	文化振興 文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成29年度	実施回数	1
日時	平成29年4月9日(日) 16:00開演		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	奈良市との姉妹都市であるベルサイユ市の青少年少女合唱団の音楽と日本伝統文化の箏曲で文化交流することにより姉妹都市としての友好を深め、ならまち界隈及び奈良市の国際交流と文化振興の活性化を目指す。					
内容	奈良市の姉妹都市であるベルサイユ市からの青少年少女合唱団来寧にあたり、国際交流事業として奈良市立一条高校箏曲部との交流コンサートを開催。コンサート終了後には、日本の伝統文化体験のおもてなしとして、一条高校箏曲部がベルサイユ市の青少年少女合唱団メンバーにお琴の演奏と体験会を開催。					
事業費(円)						
歳入						
予算	市費(指定管理料等)	646,617	その他収入 (事業収入等)	0	歳出	646,617
決算	市費(指定管理料等)	646,617	その他収入 (事業収入等)	0		646,617
事業成果						
アンケートの集計		配布数: 183	回収数: 125	回収率: 68%		
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	ハガキによる事前一般参加申込者数277人。当日の一般参加者183人(一般参加率66%)。尚、当日はハルピュ43人と一条高校14人の出演者が観客席で鑑賞したため実数としては240人。客席数300人に対して、参加者が240人(参加率80%)。 目標値: 300 実績値: 240			
	参加者満足度	4	アンケート結果の大変よかった72%、よかった10%、82%が満足したと考えられる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	3	まず、しみんだより3月号で一般参加者を入場無料で事前申込制としたことで、市民に対し奈良市とハルピュ市が姉妹都市であることを再認識していただくことが出来た。そして、交流コンサートとして、奈良市を代表して市立一条高校箏曲部が出演・演奏し、部員主導でベルサイユ市の青少年少女合唱団に対して箏の演奏体験を実施。出演者同士が音楽で交流深めあうことが出来た。			
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	ハルピュ市の青少年少女合唱団は、将来の音楽家を目指す子どもたちが入る専門学校からの選抜メンバーが来日、演奏。奈良市的一条高校箏曲部は、全国大会にも出場経験のある実力派の団体。			
	ターゲットを意識した企画であったか	4	しみんだよりによる事前申込制で、今回の催しに自ら興味を持って申込されたということから、適切であったと考える。			
総合評価(自動計算)		4				
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) アンケートより抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても素晴らしい音楽ありがとうございました。感謝しました。フランスが身近に感じました。</li> <li>・市の文化交流がこういう音楽を通して継続されることに市民の一人として嬉しく誇りに思った。</li> <li>・奈良で数少ない国際交流コンサートに参加出来て感動しました。若い人達のパワー、青少年の皆さんの素敵な歌声、一条高の箏曲、桜の季節に相応しい和の世界に魅了されました。</li> <li>・他の姉妹都市との文化交流もあればいいと思います。</li> </ul> <p>(協働者) 一条高校箏曲部から御礼のハガキ、ベルサイユ合唱団からは御礼のメールをいただきました。</p> <p>【一条高校箏曲部】 今回の催しに参加させて頂いて部員一同感謝しています。この経験を生かして、今後も練習を頑張りたいと思います。</p> <p>【ハルピュ合唱団】 今までで一番素晴らしいコンサート・ツアーを行うことができたこと、心から感謝しています。これも、仲川市長様をはじめ、奈良市とならまちセンターの皆様、各観光名所、一緒に参加してくれた奈良市の子供達、そして何よりも、観客の皆様のおかげです。プロの音楽家を目指す子供達にとって、とても貴重な体験でした。また、日本という文化を身近に体験し、日本の良さを身につけ、世界に羽ばたく広い心を持つ大人になって行くことを確信しております。この素晴らしい体験はここで終わりではありません。奈良市のお琴の生徒さん達がいつかベルサイユにきましたら、また一緒に演奏し、今度は奈良市の子供達にフランスの良さを見ていただきたいと想っています。この先も、この子供達を通して、多くまた幅広く、フランスと日本の交流を深めて行きたいと想っております。改めて、心から感謝いたします。</p>				
総括	評価年度の状況	昨年4月のハルピュ市の青少年少女合唱団から奈良市で演奏会を開催したいという提案から始まり、紆余曲折を経て当財団としては奈良市からの受託事業で奈良市姉妹都市としての国際交流コンサートを開催することが出来、多くの参加者に満足していただけたことが何より良かった。				
	改善案・次年度以降の目標	複数の団体が関わりあいがらひとつの事業を成り立たせるためには、早期に明確な業務分担と柔軟なコミュニケーションが必要であると強く感じる事業であった。このことを踏まえて、我々の業務の取り組み姿勢の一つのホスピタリティをもって来場者(参加者)や出演者が快適に過ごせることを念頭に、このようなタイプの事業に取り組んでいきたい。				
総括		年度をまたいだことで、奈良市と当財団共に人事異動による実務の引き継ぎ不足等で一時的に混乱もあったが、最終的には互いに役割を果たし、協働できたと感じている。				

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名	ならまちコンサート ならまちわらべうたフェスタ2017 秋田慎治ならまちジャズピアノライブツアー ～Decade notes～		担当課 施設名	( 奈良市ならまちセンター )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>		事業開始年	平成20年度	実施回数
日時	平成29年5月7日(日) 14:00開演		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール	
目的	奈良市総合財団のスケールメリットを生かし、他施設(特に奈良市音声館)と協働で奈良らしい音楽コンサートを企画開催し、互いに今後の事業展開に繋げていく。				
内容	ニューヨークで鍛え上げた洗練されたセンスをベースに進化し続ける奈良出身の実力派ジャズピアニスト兼作曲家、秋田慎治によるジャズピアノソロライブ。				
事業費(円)					
歳入					
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	360,000	歳出 360,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	338,003	338,003
事業成果					
アンケートの集計			配布数: 227	回収数: 35	回収率: 16%
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	参加者数が目標値よりも27人増え、参加率は113.5%であった。このことは目標を十分に達成できたと考えられる。 目標値: 200      実績値: 227		
	参加者満足度	4	アンケートの満足度で、大変よかった94%、よかった6%の結果となり、ほとんどの方が満足されていると考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	3	まずは、出演者が奈良県出身であったこと。そして、出演者の家族が、集客に多大なる協力をして下さったことが、参加者に成果として反映しているといえる。また、まちづくり振興事業グループ内の音声館がチラシデザイン作成協力、ならまち振興事務所が看板版用ポスター作成協力など、当センターと連携を取りながらの協働は、同グループ内での協力体制の良さが成果として表れているといえる。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	出演者は、ジャズピアニストであり作曲家でもある秋田慎治。日常的なジャズアンサンブル内でのピアニストとしての活動のみならず、ジャズピアノのソロライブを10年続けている実力派。		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	ジャズ愛好家は言うまでもなく、ジャズ(ピアノ)というフォーカスを絞った演奏会に興味を持って下さる方も多く参加されていたことがアンケートより読み取れる。また、知り合いに誘われて初めてジャズを聴くという声もあったが、今回の演奏会で魅了されたという評価を受けている。		
総合評価(自動計算)		3			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県内出身のアーティストをどんどん応援して欲しい。秋田慎治さん素晴らしいです。</li> <li>・ジャズのコンサートは初めてで、途中寝てしまうかと思いましたが、最後まで良かったです。</li> <li>・今後もお昼のコンサートを是非続けて下さい(年寄りには夜は、なかなか出掛けられません)</li> <li>・コンサートの間には、やはり休憩時間を入れてもらえる方が良いと思います。少し暑くなっている時期だったので、お茶休憩があったら、と思いました。</li> </ul> <p>(協働者) 出身地である奈良で、そして昨年度に引き続きならまちセンターで、自身のジャズピアニストとしてのソロ活動10年目に当たる年に多くの方に演奏を聴いていただき、とてもありがたく感謝している。奈良での演奏会を継続して続けさせていただきたいと考えている。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	昨年度の演奏と比較すると、より洗練されたように感じた。集客については、出演者のご家族によるところが大変大きかったのは事実。しかしながら、チラシ・ポスターでこの公演を知った方が16%。これは、当センターを中心とした街なかでのポスター・チラシの掲示協力を地道に声かけしたことが成果となって表れたといえる。口コミと地道な宣伝活動は、いつの時代でも必要だと感じた。		集客につながるような、広報宣伝を継続していきたい(地道な声かけによるポスター掲示協力や、チラシの配布など)。公演内容やジャンルにかかわらず地域の方が、毎回開催を楽しみにしていただける「ならまちコンサート」となるようにしていきたい。コンサートだけでなく事前アウトリーチや当日の来場者も参加できるような事業展開を目指し、地域包括と地域連携・市民参加でさらに地域ににぎわいを育みたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名	ならまちセンター バックステージツアー×謎解きラリー		担当課 施設名	( 奈良市ならまちセンター )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成29年度	実施回数	2回
日時	平成29年8月5日(土) ①11:00、②14:00		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール	
目的	主にファミリー層や20～40代の方をターゲットとして、市民ホールを謎解きを取り入れたバックステージツアーで市民ホール客席のみならず隅々を知っていただく。この催しに参加することにより市民ホールを身近に感じ親しみと興味を持ってもらうことにより、市民ホールの利用促進と来館者増を図る。				
内容	市民ホールの客席、舞台、舞台裏、楽屋のそれぞれに謎解き（クイズやパズル）を設置。それら謎解きを解決することによる達成感で順にホールの隅々まで謎解きを進め、市民ホールをより知ってもらうバックステージツアー。1人800円。				
事業費（円）					
	歳入			歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	40,000	40,000
決算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	3,480	3,480
事業成果					
アンケートの集計		配布数：13	回収数：8	回収率：61.5%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度	1	公共施設、周辺小学校3校などにチラシを配布し広報したが、目標値を下回った。1人800円と料金設定が高額と言う意見が聞かれた。 目標値： 20人×2回=40人      実績値：延べ13人		
	参加者満足度	4	普段は入れない部屋（音響・照明室）への入場、舞台を使った様々な体験、頭を使ったクイズを行い、クイズが楽しかったなどの意見をいただいた。		
	市民参画・協働の成果はあったか	3	体験型のイベントを実施することによって、参加者が積極的にイベントに関与する環境を作ることが出来た。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	事業開催前にテストプレイを行い、イベントの向上に向けて意見を出し合い、質の確保に努めた。当日の進行においては参加者の様子をつかみつつ、楽しい雰囲気を作れるようにスタッフが工夫を行った。		
	ターゲットを意識した企画であったか	4	子ども、ファミリー向けを意識していたが、そのとおりの参加者が集まった。		
総合評価（自動計算）		3			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) ・いつも見れないところが見られて良かった。 ・少し難しかったけど、解けたから楽しかった。 ・参加費が割高。（子どものみの参加費を支払いたい） (協働者)			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	夏休み向けの企画として設定し、小学校やインターネットに広報を行ったが、目標に届かず広報戦略の練り直しは必要だと感じた。しかし、参加されない方からも面白そうだと言う意見は複数聞かれたので、更なる工夫をすれば盛り上がる行事となると感じた。参加者は普段見られないところを見られ、遊べたので満足度は高かった。		普段なかなか体験できないホールの舞台裏を見学し、その専門性の高い業務を子供たちに知っていただき、参加者自らがその中でミッションをクリアしていく事で芸能・文化に関心を高めていただくいい機会であったと感じている。しかし参加者からは、小学生を中心とした夏休み期間の体験行事であれば無料の催事が多い中、入場料を徴収しての催事はなかなか参加しにくいとの意見が寄せられた。少しでも収益性を求めた事業計画を行う中で、受益者負担での行事を続けるには付加価値を付け、喜んでいただけるお土産付の行事を企画するなど次年度に向け検討していく。また春夏冬の学校休日に合わせた子供対象の他の行事と連携を図り、事業拡大を目指す。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		わらべうた教室		担当課 施設名	( 奈良市音声館 )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(4) - ① (9) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成7年	実施回数	子どもクラス：6クラス×年25回 いきいきクラス（大人）：3クラス×年10回
日時	子どもクラス：毎月水～金曜日 9：30～11：30 / 15：00～16：45 いきいきクラス：毎月第4金曜日 ①10：00～11：15 ②12：30～13：45 ③14：30～15：45		会場	音声館ホールまたはブレイルーム2	
目的	奈良に伝わる“わらべうた”を継承し、ならまちの文化振興に役立てるとともに、わらべうたを通して奈良の歴史や文化への関心を育み、ふるさと奈良への愛情と誇りを育む。 わらべうた本来の姿を大切にしながら現在にふさわしいアプローチ方法を用いてわらべうたへの興味・関心を引き出し、同時にわらべうたを通して子どもたちの人間関係づくりを援助し、幅広い層での世代間交流を経験できる場を提供する。				
内容	1・2歳児クラス（親子）2クラス/水・木：各25組程度 3歳児クラス（親子/子どものみ）2クラス/木・金：各20人程度 4・5歳児クラス（子どものみ）/木：20人程度 小学生クラス（1～6年生）/水：40名程度 いきいきクラス（50歳以上）3クラス/金：各70名程度				
事業費（円）					
歳入					
予算	市費（指定管理料等）	その他収入 （事業収入等）	4,704,000	歳出 4,704,000	
決算	市費（指定管理料等）	その他収入 （事業収入等）	3,258,231	3,258,231	
事業成果					
アンケートの集計		配布数：299人	回収数：148枚	回収率：49%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	子どものクラスは、減少傾向にある。大人対象（いきいきクラス）は毎年受講希望が多く、十分な参加者数を獲得していると考え。 目標値：400 実績値：298		
	参加者満足度	4	アンケート結果から、満足度は充分であると考えられる。わらべうたを通して奈良のことがわかることができた、また、友人関係の広がりや親子で楽しめる時間が増えた、との意見多数あり。		
	市民参画・協働の成果はあったか	4	講師陣とともに、過去の実績や評価、受講生からの意見を踏まえ年間のカリキュラムを考え、実施した。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	わらべうた教室講師同士の勉強会の実施や、教室で生かせるスキルアップを講師各自が図っているため、質の確保はできているものと考え。		
	ターゲットを意識した企画であったか	4	各クラス対象年齢が決まっている。		
総合評価（自動計算）		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>（参加者） 奈良の伝統行事等をあまり知らなかったが、わらべうたを通して行事（おん祭等）についても教えてもらい、大変興味深く、ためになった。人前でわらべうた発表の場があり、子どもに自信がついた。季節に応じた歌や遊びで子どもと一緒に四季を楽しめた。歌うことで心がすっきりする。</p> <p>（協働者） わらべうた遊びを通して、親子で触れ合う良い機会となっている。 子どもたちの心身の成長を促すわらべうたを次世代に継承する貴重な場所である。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	当館設置目的の一つである「わらべうたの調査、普及に関すること」に値する事業であり「わらべうたを通して親子や友人などの基本的人間関係を楽しめる機会を提供する」、受講者にとって身近にわらべうたを学び、交流を深める場となり、文化に対する意識向上につながった。		少子化が進み、幼稚園等でも子ども確保のために様々な取り組みをされている（園内での稽古事等）ため、わらべうた教室に通う子ども（特に3才～5才）が減っている。時間帯を変更したり、ニーズに合わせる努力をしているが増員には繋がっていないので、今後さらなる検討が必要である。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		エントランスコンサート (やわらぎコンサート)		担当課 施設名	( 奈良市音声館 )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -①
	基本施策	2-05	文化振興		(5) -①
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成24年	実施回数	年24回
日時	土日祝の指定日 14:00~14:45		会場	音声館エントランス	
目的	無料のコンサートを通して市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来館いただき、同館での活動を 知っていただく機会とするとともに、演奏発表の場が少ないアマチュア演奏家を中心に、その場を提供する。				
内容	年度末に出演者を募集。音響・司会等運営を音声館スタッフがを行い、アマチュア演奏者等に発表の場を提供する。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	113,000	113,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	57,923	57,923
事業成果					
アンケートの集計		配布数: 165	回収数: 67	回収率: 41%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	来場者数は回によってばらつきはあるものの、年間平均が70名と年間を通して高い来客率であったと考える。(来場者数1,780名・出演者数125名) 目標値: 1,900 実績値: 1,845		
	参加者満足度	4	無料で幅広いジャンルの音楽が楽しめることから、毎回聴きに来てくださるリピーターも多い。反面、毎回約3分の1は初めての来場者であることから、エントランスで気軽に楽しめるコンサートとしては十分な満足度が得られたと考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	4	出演者のほとんどは市民であり、来場者も半数は市民であると考えられる。一般募集をした演奏家たちが出演することで、その友人・知人に広く広報してもらい、音声館の活動のPRにつなげることができた。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	3	例年、出演者の募集数に対し倍近い多くのアマチュアやプロ演奏者が応募くださるようになってきた。演奏者のレベルも向上し、色々なジャンルの音楽を提供でき、音楽の分野の幅を広げることができる。		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	様々な世代向きに音楽を提供することを目的としているが、来場者の多くは高齢層で、子どもや若年層の来場は少ない。		
総合評価(自動計算)		3			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 毎週1回はこのコンサートをしてほしい。 知っている曲を演奏してくれたのでうれしかった。 良く響くホールで音響がよかった。</p> <p>(協働者) 会場の広さや響きも大変よく、集客もしていただき大変満足しております。 客席と舞台が一つになれてすばらしい空間でした。 スタッフの対応が丁寧で、またサポートをしていただけたので安心して演奏することができました。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	設置目的の一つである「音楽及び演芸会の開催並びに市民のふれあいの場の提供に関する事業」に値する事業であり、毎年多数の出演希望(応募)があることから、演奏家にとって良い活動の場となっていると考えられる。また、観客にとっても幅広いジャンルの音楽を気軽に楽しめることとあって、毎回多数の来場者がある。常設展示がない当館にとっては、この事業を開催することにより、より多くの市民や観光客が来場する機会とし、来場者の増加を見込むともならまちや音声館のPRにつなげている。		来場者数は安定しているが、県主催の「ムジークフェストなら」などとコラボをしながら、より多くの方々に来館していただけるよう努力をしていく。また、出演者の顔ぶれが馴染みになってきたので、募集範囲を広げ、同時に若手育成の場にもつながるような工夫をしていきたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		子どもお茶教室		担当課 施設名	( 奈良市音声館 )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(4)-①
	基本施策 施策	2-05 2-05-01	文化振興 文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成15年	実施回数	年12回
日時	毎月、第2日曜 正午～3時		会場	音声館和室	
目的	日本に伝わる伝統的な文化である「茶道」を次世代への継承するため、また、子どもたちが経験を通して日本の文化を知り、ふるさとを愛する心を育むことを目的とする。				
内容	茶道の講師を招き、小学生を対象に茶道の基本的な作法や点前を月1回稽古する。年4回、館内において「お茶会」を開催。				
事業費（円）					
歳入					
予算	市費（指定管理料等）	その他収入 （事業収入等）	181,000	歳出 181,000	
決算	市費（指定管理料等）	その他収入 （事業収入等）	98,690	98,690	
事業成果					
アンケートの集計		配布数：18	回収数：18	回収率：100%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	お茶会の参加者数は目標値に満たなかったが、受講者は前年度からの継続希望者が大半を占めている。 目標値：25      実績値：18		
	参加者満足度	4	継続希望者が多数いることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	4	より充実した内容で行えるよう、講師陣とは年間計画や教室開催ごとに打ち合わせを行っている。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	子ども18名に対して講師6名が指導にあたっているため、教室内容の質は確保していると考ええる。		
	ターゲットを意識した企画であったか	4	受講者は小学3年生～6年としており、全学年が参加している。		
総合評価（自動計算）		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがとても楽しく学んでいる。茶道に興味を持てたのもお茶教室のおかげである。（保護者）</li> <li>敷居の高い日本の文化を気軽に学べるのが良い。（保護者）</li> <li>お茶会では一人で点前を披露するので緊張するけど楽しい。（受講生）</li> <li>学校のクラブで習っている。両方で習えてうれしい。（受講生）</li> </ul> <p>(協働者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが茶道に興味をもってくれているのがありがたい。受講可能な年数は3年生～6年生までと短い。日本の伝統文化に興味をもつきっかけになってもらえたら嬉しい。卒業しても茶道に触れる機会として中学生お手伝いを講師のサポート役として受け入れている。（講師）</li> </ul>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	設置目的の一つである「音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資する」に値する事業であり、受講者にとって身近に日本の伝統文化を学べる場となり、文化に対する意識向上につながった。受講生の受け入れは6年生までであるが、卒業後も講師や受講生のサポート役として数名が来てくれる。		新しい企画も取り入れながら、他施設（特にならまち）との連携をもって事業を展開して行きたい。子どもたちがより深く、また広く興味を持てるような取り組みを考えていきたい。		